

**【勤労感謝の日について】**

11月23日(日)は勤労感謝の日です。勤労感謝の日は、国民の祝日に関する法律(昭和23年制定の祝日法)によれば、「勤労をたっぴ、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨としているそうです。農業国家である日本は、古くから神々に五穀の収穫を祝う風習があり、その年の収穫物は国家としても一年を養う大切な蓄えとなることから、収穫物に感謝する大事な行事として飛鳥時代に「新嘗祭(にいなめさい、しんじょうさい)の日」として始まったようです。しかし、第二次世界大戦後、「働くこと」には本来「農業に従事して生産を行うもの」だけを言うのではなく、今日の「サービス産業なども含めた幅広い意味をもつ仕事」もあるという考え方から、「新嘗祭の日」が見直しされ、現在の「勤労感謝の日」として制定されるに至ったのだそうです。

つまり、「仕事をしている人たちを尊敬して、みんなで、収穫や生産品を喜びましょう。そして、みなでお互いに感謝をあいましょう！」という日になります。

さて、皆さんは誰にどんな感謝の気持ちを抱きますか。普段は何気なく過ごす中にも、「勤労感謝」という視点で周囲を見つめ直してみると、感謝すべき人は確かにいるはず。そして、実に多くの場面で支えられ励まされてきたのではないかと思います。そこで、感謝の気持ちを素直に表現することが大切であり、照れくさくても、ごちなくとも、「自分や家族」のために「勤労」に頑張っている人に言葉や態度や行動で伝えてほしいと思います。素直に感謝を伝えられる人は、のちに周囲からの感謝を受ける人になり得ます。自分と家族・生活などの関わりやつながりをよく考え、これまでのことに感謝として表現し、その感謝を自分のこれからへの決意に変えて生活を進めてほしいと思います。

**【11月テストに向けて】**

3年生は11/14(金)に、1・2年生は11/26(水)に11月テストを行います。2学期最後の定期テストでもあり大事なテストです。努力は積み重ねてこそ身になり形になり成果につながるものですから、オーバーワークにならないように計画的にコツコツと取り組むことが一番です。2学期の評価のためという意味もあるでしょうが、目先のことでなく、誰もが直面する卒業後の進路を見据えると、それぞれの学年における重要な意味があり、大切に考えて取り組んでほしいと思います。テスト勉強を通じて学習習慣を強化し、授業や家庭学習にしっかりと力を入れ頑張ってください。

また、11月は2学期後半にかけての大事な月でもあります。一般に12月は落ち着いた生活を心がけるべきものの最終月なのでどうしても慌ただしくなりがちです。そこで、2学期を内容的に充実させるラストパートとしては11月が大事になるのです。普段の学校生活や家庭生活を見直し、真に充実した生活を送ることができるようにしてほしいものです。そのためにも11月テストを軸として頑張りましょう。

**【あいさつ運動～子どもたちの表情】**

月はじめに月例の三中学区あいさつ運動を行っていますが、回を重ねるごとに子どもたちのあいさつが活発になってきています。三中職員やPTA役員・保護者や地域の方々も参加してくれています。11月は4日(火)に行いました。風が冷たく寒い中でしたが、子どもたちの元気な声と明るい笑顔が寒さを忘れさせてくれるようでした。今後もご協力よろしくお願ひします。

**【防寒の対策として】**

防寒着は派手な物や高価な物を避け、中学生らしい物であってほしいと思います。また、防寒着に加え、個人の必要に応じて手袋やマフラーなどの着用も可能です。